

# 藤本昭子の会



伝承の力 古典の現在



八重垣

箏 藤本昭子

西行桜

三弦 藤本昭子  
箏 岡村慎太郎  
尺八 芦垣泉盟

雪

三弦 藤本昭子  
胡弓 菊央雄司

松竹梅

三弦 藤本昭子  
箏 米川敏子  
尺八 善養寺恵介

2022年 ㊤ 13:30開演(13:00開場)

7|3 国立劇場小劇場

- 入場料:5,000円(全指定席)  
後援:公益財団法人日本伝統文化振興財団
- お問合せ・チケット申込み  
藤本昭子の会 email: [akikof@tc4.so-net.ne.jp](mailto:akikof@tc4.so-net.ne.jp)  
電話:03-3716-6716 fax:03-3716-2110



# 心新たな第一歩

## 「地歌ライブ」から「伝承の力 古典の現在」へ

2001年から21年間にわたって全100回を積み重ねることとなりました「地歌ライブ」を通じて、地歌に初めて触れた方々が少しずつリピーターになって下さり、本当にありがたいことに、気付けばたくさんの方々が毎回来しみに地歌をお聴き下さるようになりました。「地歌ライブ」の終了後もそのような皆様に精一杯の演奏をお届けしたい。その思いと同時に、ここ数年「地歌筆曲の古典をこのまま絶やしたくない、未来に伝えたい」との願いが募り続けておりました。

けれども流派に身を置きながら、他の会派の方々に演奏に関わる事柄をお伝えすることには厳然とした壁があります。そこで、所属会派のない演奏家・古典継承者となれば、祖母、母から学んだ古典の唱法・奏法を直にお伝えする機会が少しでも多く頂けるのではないかと考え、一昨年12月に私は祖母が創立した銀明会を退会し、流派としてではなく演奏活動の母体となる「藤本昭子の会」を創立致しました。

本年、心新たな第一歩となる「伝承の力 古典の現在」では、地歌筆曲の未来を担う方々と古典継承を共に学び、私自身の研さんの場としてのリサイクル公演を開催します。そして、全国各地での開催を3本の柱として、年2〜3回の公演開催を目標に、さらに日々の修練に励んで参りたく存じます。

今回の公演は、1月22日国立劇場小劇場で予定しておりました「藤本昭子の会」と副題して開催するリサイクル公演です。年初からの新型コロナオミクロン株の急激な増加によって苦渋の決断となる中止を決定致しましたが、本当に幸いなことに7月3日に延期開催が叶いました。米川敏子先生、善養寺恵介先生にご助演賜ります「松竹梅」、

上方地歌を牽引する菊央雄司さんの胡弓との「雪」、これからの三曲界を實力で担う岡村慎太郎さん、芦垣卓盟さんのご助演による「西行桜」、そして、箏組歌秘曲として祖母が伝承を受けた「八重垣」を独奏で取り上げます。

皆様にはぜひご来場下さいまして、忌憚ないご批評を賜りますようお願い申し上げます。

藤本昭子



## 藤本昭子

(ふじもと あきこ)

九州系地歌筆曲演奏家。祖母岡部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に師事。1995年、第1回リサイクル開催。以降現在まで全17回開催。2001年古典の継承と新たな可能性を追求する「地歌ライブ」を開始。2021年11月第100回ファイナル公演開催。欧米各国で「地歌公演」多数開催。これまでに日本伝統文化振興財団賞、伝統文化ボーラ賞、松尾芸能賞、優秀賞、文化庁芸術祭音楽部門大賞、企画制作、主演CD「雪墨」、「地歌のいろは」が同レコード部門大賞を2年連続受賞。2021年秋、紫綬褒章受賞。正派音楽院講師。(公財)日本伝統文化振興財団理事。公社日本三曲協会、箏曲女流会会員。「藤本昭子の会」代表。CD作品に「百年の時を甦る幻の音色」残月八重衣等。

## 岡村慎太郎 (おかむら しんたろう)

東京藝術大学卒業。同大学院修了。在学時、宮中桃華樂堂にて御前演奏。東京藝大推薦による奏樂堂「岡村慎太郎リサイクル」開催。三味線組歌、箏組歌を菊藤松兩師に師事、両巻伝授。文化庁新進芸術家国内研修制度研修生。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員(〇六〜〇七年度)。エリザベト音楽大学非常勤講師。NHK邦楽オーディション合格。第三十四回宮城会箏曲コンクール一位。第六回賢順記念箏曲コンクール奨励賞。(公財)日本伝統文化振興財団邦楽技術者オーディション合格。第二十二回くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞受賞。

## 芦垣卓盟 (あしがき こうめい)

10歳より琴古流尺八を田中康盟に師事。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修了。在学中山口五郎(人間国宝)に師事。第45期NHK邦楽技術者育成会卒業。日本伝統文化振興財団主催「邦楽技術者オーディション」合格。国立劇場主催公演「明日を担う新進の舞師」邦楽鑑賞会、文化庁芸術祭オーブニング公演「伝統芸能の交流」に出演。皇太子ご夫妻御前演奏。文化庁芸術祭主催公演「アジア太平洋地域の芸能」出演。国立劇場おきなわ。現在、朝日カルチャー横浜校、読売カルチャー大宮校、川口校各講師。(公社)日本三曲協会、琴古流協会、三曲若葉会会員、竹垣社評議員、泉盟会会士。

## 菊央雄司 (きくおう ゆうじ)

一九八九年野川流三弦古生田流菊原家五代目菊原光治に入門。九七年、菊央の称号を授かる。九九年上方系胡弓を菊津太昭に師事。二〇〇〇年平家琵琶を今井勉に師事。長谷校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文化庁奨励賞受賞。〇四年大阪舞台芸術新人賞受賞。〇五年初リサイクル開催。以後、全四回開催。大阪市「咲くやこの花賞」受賞。〇六年京都市芸大日本伝統音楽研究センター共同研究員。〇七年社当道音楽会にて中甸当の職格を取得。二年大阪文化祭奨励賞受賞。一七年日本伝統文化振興財団賞受賞。現在、大阪音楽大学、文楽研修生講師。琴友会、(公社)当道音楽会、平家語り研究会会員、菊央雄司地歌の会主宰。

## 米川敏子 (よねかわ としこ)

1950年東京生まれ。3歳より母初代米川敏子文化功勞者、人間国宝に地歌筆曲の手ほどきを受ける。73年NHK邦楽技術者育成会18期卒業。89年より欧米アジア各所で海外公演を多数行う。クラフク交響楽団、プリュセル音楽院管弦楽団と共演。これまで芸術選奨文部大臣新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、日本伝統文化振興財団賞、エクスプローザ音楽賞、年芸術選奨文部科学大臣賞、貞明皇后記念蚕糸科学賞、日本芸術院賞を受賞。〇7年米川裕枝改め二代米川敏子襲名。11年紫綬褒章受賞。現在、くらしき作陽大学特任教授。(公財)日本伝統文化振興財団評議員。研学会五代目家元。作曲作品に「月影」(つきあや)「海」(うみ)と「風影」(かぜあや)「箏」(うい)と「オラ」による他多数。

## 善養寺恵介 (ぜんようじ けいすけ)

東京藝術大学邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。同大学在学中山口五郎(人間国宝)に師事。1999年、第1回リサイクル開催(現在まで全14回開催)。2000年尺八教則本はじめての尺八(音楽之友社刊)執筆。〇2年日本伝統文化振興財団賞受賞。〇6年箏曲山田流の山登松和と共に古典ユニット「ZENYAMATO」結成。〇8年文化庁芸術祭新人賞、〇9年同優秀賞、17年同大賞受賞。18年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年胡弓の高橋翠秋、地歌の藤本昭子、義太夫三味線の鶴澤津賀寿と共に、古典立脚による新たな邦楽創造を掲げたユニット「SATZ」結成。20年紫綬褒章受賞。現在、古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地で尺八普及のための教授活動を行っている。公式web site <http://zenyoji.jp/>